

メモリアルイヤー講演会

宮沢賢治没後90年

長野まゆみと宮沢賢治

長野まゆみの書く“銀河鉄道の夜”

イベントレポート



2023年は宮沢賢治没後90年、2024年は『銀河鉄道の夜』の執筆から100年。この記念年に「メモリアルイヤー講演会」と題して開催された本イベント。

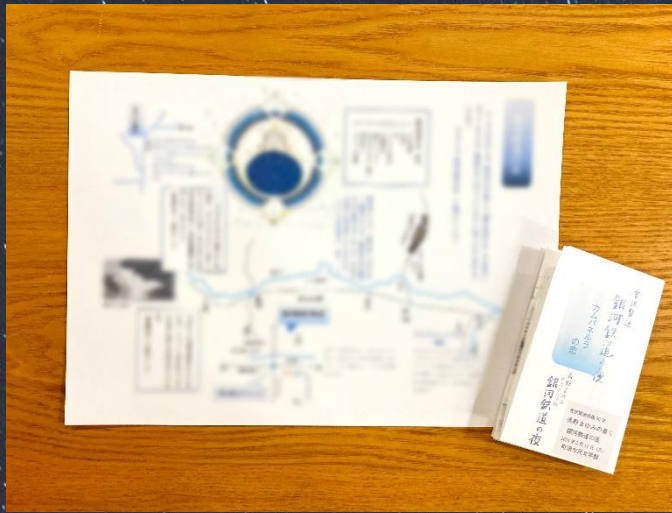
作家の長野まゆみ先生をお招きし、ご著書『カムパネルラ版 銀河鉄道の夜』を中心に、長野先生から見た宮沢賢治とその著作、そして先生ご自身の創作活動についてなど、幅広いお話をたっぷり伺うことが出来ました。

イベントの様子を少しだけお届けします！

ながの
長野まゆみ

1988年『少年アリス』で第25回文藝賞を受賞しデビュー。以降、精密に設定された独自の世界観で物語を描き、精力的に執筆を続ける。

『天体議会』、『新世界』、『野川』他数々のロングセラーがある。『冥途あり』(2015年)では泉鏡花文学賞と野間文学賞をW受賞。デビュー30年記念小説として『カムパネルラ版 銀河鉄道の夜』(2018年)を発表。近著は『長野まゆみの偏愛耽美作品集』(2022年)、『ゴッホの犬と耳とひまわり』(2022年)。



資料として配られたレジュメは、印刷が上下バラバラ!? これは、折り畳んで冊子状にするためのデザイン。

『『銀河鉄道の夜』でカムパネルラが黒曜石の地図をぐるぐる回して見ていたように、講演中はレジュメをぐるぐる回しながら見てください』と長野先生。おしゃれな演出にドキドキ!

※レジュメにはほかしを入れています

講演は、ご著書の執筆裏話から長野先生のルーツにまつわるエピソードまで、内容盛りだくさん。

広報担当Kは『カムパネルラ版 銀河鉄道の夜』を拝読してすっかり「推しキャラ」になってしまった「中原宙也」さんの話題に一人ニヤニヤ… 😊

聴講していた学芸員からは、「創作の方法について、長野先生は物語を読んで感じたことから妄想を膨らませていくと語っていた。作家の研究をしたり考察をしたり、事実を追及していく研究者とは違って、やっぱり小説家ならではのと思っ興味深かった」との感想も。



会場後方には物販スペースも設置。長野先生のご本がずらり。休憩時間や講演後には、多くのお客様が詰めかけていました。

そして講演の後は、皆さんお待ちかねのサイン会。長野先生がファンの方一人一人とじっくりお話ししながら、本にサインカードとお名前を入れていらっしゃいました!



メモリアルイヤー講演会 宮沢賢治没後90年

「長野まゆみと宮沢賢治 長野まゆみが書く“銀河鉄道の夜”」

日時:2024年2月11日(日) 14時から16時

会場:町田市民文学館 2階大会議室

講師:長野まゆみ(作家)



記事作成:町田市民文学館 広報担当